

土浦市全体図 (洪水・土砂災害避難地図)

Entire Map of Tsuchiura City (Flood/Landslide Evacuation Map)

わが家の防災メモ Emergency Information List for My Family

わが家の避難所 Evacuation Shelter for My Family		土砂・洪水 Landslide/Flood		地震 Earthquake	
名 前 Name	血液型 Blood Type	電話番号 Phone Number	会社・学校名 Company/School Name	会社・学校の連絡先 Company/School Contact Information	
家族の連絡先 Family contact information					

各河川の想定条件について

霞ヶ浦	乙戸川	備前川	境川	上備前川
(1) 作成主体 国土交通省 関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所 (2) 指定年月日 平成28年8月18日 (3) 指定の前堤となる降雨 霞ヶ浦流域の192時間総雨量853mm (72時間想定最大規模降雨は660mm)	(1) 作成主体 茨城県 (2) 指定年月日 令和5年10月24日 (3) 指定の前堤となる降雨 流域全体に24時間総雨量で678mm、 ピーク時の1時間に87mm	(1) 作成主体 茨城県 (2) 指定年月日 令和5年10月24日 (3) 指定の前堤となる降雨 流域全体に24時間総雨量で690mm、 ピーク時の1時間に148mm	(1) 作成主体 茨城県 (2) 指定年月日 令和5年10月24日 (3) 指定の前堤となる降雨 流域全体に24時間総雨量で690mm、 ピーク時の1時間に146mm	(1) 作成主体 茨城県 (2) 指定年月日 令和5年10月24日 (3) 指定の前堤となる降雨 流域全体に488時間総雨量で746mm、 ピーク時の1時間に77mm

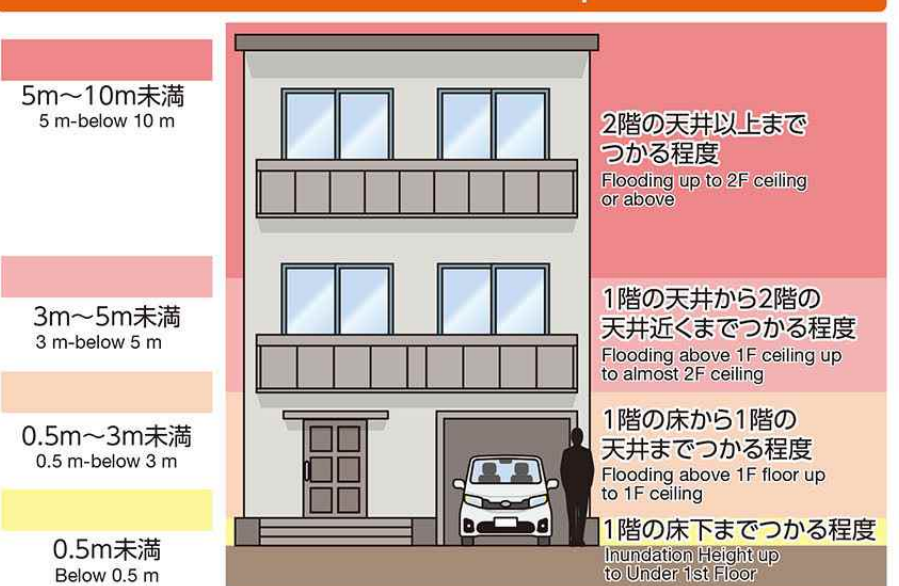
桜川	花室川	新川	天の川・雪入川・天王川
(1) 作成主体 茨城県 (2) 指定年月日 平成28年9月28日 (3) 指定の前堤となる降雨 流域全体に48時間総雨量で746mm、 ピーク時の1時間に77mm	(1) 作成主体 茨城県 (2) 指定年月日 令和5年10月24日 (3) 指定の前堤となる降雨 流域全体に24時間総雨量で686mm、 ピーク時の1時間に147mm	(1) 作成主体 茨城県 (2) 指定年月日 令和5年10月24日 (3) 指定の前堤となる降雨 流域全体に24時間総雨量で690mm、 ピーク時の1時間に147mm	(1) 作成主体 茨城県 (2) 指定年月日 令和5年10月24日 (3) 指定の前堤となる降雨 流域全体に24時間総雨量で631mm、 ピーク時の1時間に186mm



家屋倒壊等氾濫想定区域 Assumed areas of house collapse due to flooding

凡例 Legend	避難行動
氾濫流 Flood Overflow 木造建物が倒壊するおそれのある区域 Areas with risk of wooden house collapse due to flood overflow	木造建物が倒壊するおそれのある区域に 氾濫流が発生する恐れがあることから、 早期の立退き避難が必要。
河岸浸食 Bank Erosion 家屋が倒壊するおそれのある区域 Areas with risk of house collapse due to bank erosion	家屋が倒壊するおそれのある区域に 河岸浸食が発生する恐れがあることから、 早期の立退き避難が必要。
浸水深 Flood Depth 5~10m未満 5 m-below 10 m 3~5m未満 3 m-below 5 m 0.5~3m未満 0.5 m-below 3 m 0.5m未満 Below 0.5 m	家屋が水没するおそれのある区域 Areas with risk of houses being submerged 床上浸水または浸水深が想定されること から、立退き避難が必要。浸水深が 想定される状況を確認し、自らの判断 により屋内安全確保を要し。
その他の浸水想定区域 Other assumed inundation areas	

浸水深の目安 Estimated Flood Depth



土砂災害の種類

突発的に発生し、すさまじい破壊力で一瞬にして多くの生命や財産を奪ってしまう土砂災害は、大きく3種類に分けることができます。

急傾斜地の崩壊

集中豪雨や地震などにより地盤が緩み、抵抗力の低下や浮石の抜け出しが生じて瞬時に斜面が崩れ落ちる現象。突発的に起こり、家や車など巻き込まれる危険性が高く、被害の範囲が広い。

地すべり

比較的緩やかな斜面において、地中の滑りやすい層(粘土・泥岩など)を含む地層の地盤が地下水の影響を受け、ゆっくりと動き出す現象。一度に広い範囲が動くと、ひとたび発生すると、道路、田畑などに大きな被害を及ぼし、川をせき止めて洪水を引き起こす原因になることもある。

土石流

渓流に貯まった土砂が、長雨や集中豪雨などによって一気に下流へ押し流される現象。時速20km~40kmと自動車ほどの速度で流れ、破壊力がとても大きい。家や田畑を押し流し、大きな被害をもたらす。

要配慮者への支援

高齢者・病人

あらかじめ支援者を決め、2人以上で対応し、車いすや担架を使うほか緊急時は背負って避難します。

目の不自由な人

まずは声をかけ、誘導するときは腕を貸してゆっくりと歩きます。できるだけ状況を言葉にして伝えましょう。

耳の不自由な人

お互いに顔が向き合う形で、大きく口を動かして話しかけます。伝わりにくい場合は、身ぶり・筆談で伝えます。

車いす利用者

階段では2人以上で援助し、昇りは前向き、降り後は後ろ向きに移動します。1人の時は背負って避難します。

旅行者・外国人

孤立させないように話しかけます。通じない場合は、やさしい日本語や身振り手振りで伝え、道順などは手で方向を示します。

浸水想定区域・土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設一覧は、以下二次元コードよりご覧ください。

<https://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page019420.html>

家庭備蓄の充実

災害時には、ライフライン機能の低下など都市機能の低下が考えられます。そのため、各家庭で最低3日間、できれば7日間、自宅で過ごす用意をしましょう。

飲料水

・飲料水は1人1日3リットルが必要です。
・ペットボトルなどで、家族全員分を用意しておきましょう。

食料

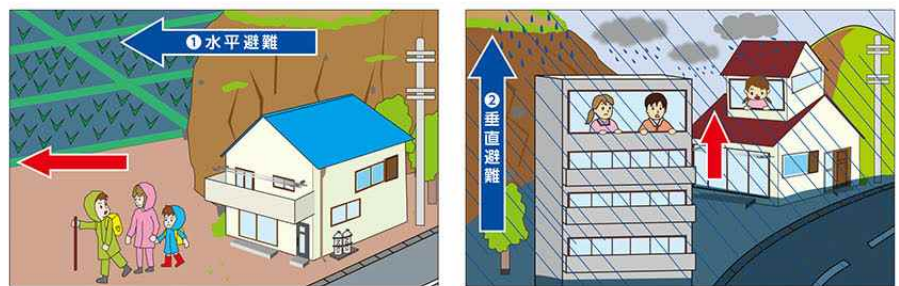
・お米や乾麺、缶詰など、日持ちのするものを多く用意しておきましょう。
・普段の生活の中で十分使い置き、賞味期限が切れる前に消費しながら定期的に買い足すことで、無理なく備蓄ができます(ローリングストック)。

その他

・カセットコンロ(ボンベも含む)、簡易トイレ(汚物処理袋)などを用意しておきましょう。

避難行動のポイント(土砂災害)

- 土砂災害の前兆現象に注意し、すぐに避難する。
- 土石流やがけ崩れの起こる方向に対して横方向に避難(①水平避難)する。
- 大雨の中など外へ避難を行うのが危険と感じる時は、自宅2階以上山の反対側の部屋や堅固な建物の上階へ避難(②垂直避難)することも考慮する。
- 土砂災害警戒情報が発表された場合は、すぐに避難する。
- 記録的短時間大雨情報が発表された場合は、早めに避難する。



マイタイムライン

災害時の被害を防ぐには適切な避難行動をとることが重要です。いつ、どのように避難するのかなどを時系列順に整理できるマイタイムラインはぜひご自身の避難に役立ちます。

<https://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page016748.html>

ハザードマップの使い方

- 自宅の位置に印をつけ、浸水域等の災害(想定)範囲に入っているか確認しましょう。
- 浸水域に該当する地域は、立退き避難が基本です。
- 避難先を決めましょう。避難先は避難所を含め親戚や知人など、ご自宅の事情に合った避難先を決めましょう。
- 避難ルートを決めましょう。実際に避難所(避難先)まで歩いてみましょう。崖やブロック塀、冠水しやすいところ、自動販売機があるルートは避けて複数のルートを決めましょう。
- 家族やご近所で事前に話し合いましょう。平時の内に家族で避難に関する行動や役割、約束事を決めておきましょう。ご近所で避難時に支援が必要なものがいっぱいあれば、事前に話し合っておく必要を協力をお願いします。

参考資料「避難行動判定フロー」

https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline/pdf/campaign.pdf